対象地域：徳島県

再生課題：サンゴ群集の再生

竹ヶ島海域公園自然再生協議会
（たけがしま かいいきこうえん）

再生目標　エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける環境を取り戻すことを目指す。

○ 協議会事務局
海陽町
○ 対象地域
徳島県海部郡海陽町
（室戸阿南海岸国定公園）
○ 協議会　：H17. 9. 9 設立
○ 全体構想：H18. 3.31 策定
○ 実施計画：H23. 7.29 策定
実施計画：R3.4. 1 策定（海陽町）
実施計画：R5.2.19 策定（徳島県）
（R7.3現在）

海面に漂うサンゴの卵

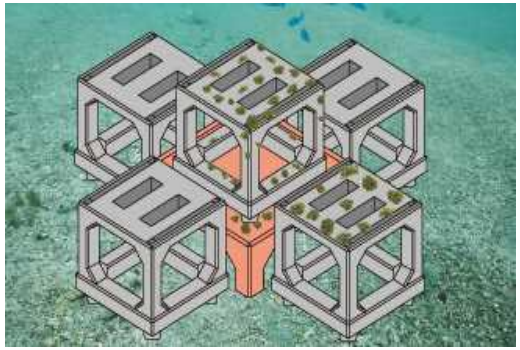
卵から育成し、約７年後の
エダミドリイシ（直径約15cm）

阿波竹ヶ島海域公園は、徳島県と高知県の県境に位置し、黒潮分岐流の影響を受け、透明度が高く、鮮やかな緑色のエダミドリイシの大群集やシコロサンゴなどの生物群集が織りなし、美しい海中景観を形成しています。

海域公園内における環境の変化の影響を受ける、エダミドリイシの大群集をはじめとする豊かな海洋生物を育んでいた沿岸生態系を持続可能な状態に回復するために、協議会において「やま・かわ・うみ」のつながりを認識した自然再生活動を進めています。

自然再生の手法

- エダミドリイシの特性把握
- 海域公園周辺の環境改善
- 陸域からの環境負荷の軽減
- 地域の多様な主体の参加と連携による取り組み
- 海域公園と共生する地域漁業の活性化


移植観察フィールドの設置イメージ